



魔乳軍將

むちっ♡

んん♡

くっ……何度繰り返しても同じよ
例え、身体をどれだけ汚されたって……

ぷん♡

心までは絶対に屈しない……！
だから、無駄な事はいい加減に……

ぬちっ♡

くぅっ、や、だからやめなさいっ！
何度犯しても無駄だって言ってるのっ！

性性

いっっ♡

ふあっ、やあ、やめ、やめえ……
そ、それを中に突っ込んじゃダメえっ

んほほほほー…！ ほほほほほほー…！
もほほほほほほへん！ 挿れ混ぜてんごー…！

ぬちゅ
ぬちゅ♡

ぐちゅ♡♡

ふん

ふん♡♡

奥うっ、子宮口に「りっ」と来たあっ…
ああああっ、「りりり」のおおおっ…！



あっ、ほおおおおおおおんっ！
あっついザーメン出たあああああっ！

ぐんぐん♡

びんがびんが♡

おんえ♡

子宮犯されてイグッ！
中出しされてイクのほおおおっ！



はあああ……
な、中でぶるぶるしてんのぉ……

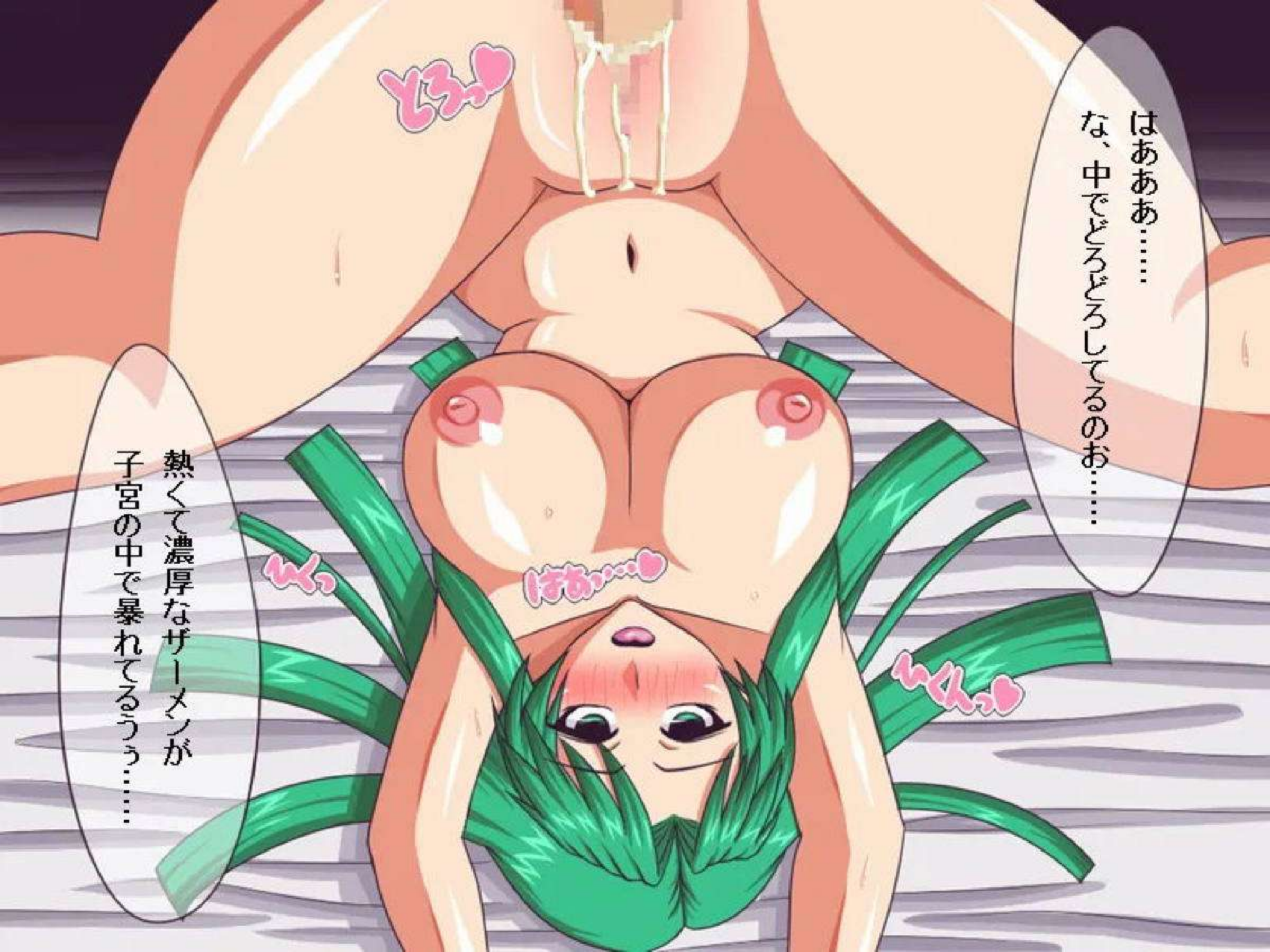
熱くて濃厚なザーメンが
子宮の中で暴れてるぅ……

とろっ♡

ぽちっ♡

いっ♡

いっ♡



捕虜にされてからと云うもの
連日、容赦のない陵辱が私を襲った
魔道書の無い女魔法使いなんて、
腕力で勝る男にとっては格好の獲物

心までは屈服しないと
強がってはいるものの……
身体は暴力的な快樂に対して
敏感に反応するように
作り変えられつつあった……



く……ま、毎日……は……出……る……の……
何……ぞ……んな……に……大……き……い……の……よ……う…………

んんっ♡

たがっ♡

しかも後ろからだなんて、
まるでケダモノみたい……

くっくっくっくっく
さ、さっきっぽ入ってきたあぁっ

ぬぶうっ♡

じわっ♡

いっくっ♡

ぬ、濡れてなんかないっ！
感じて濡らしてるんじゃないっ
「っ」これは、「っ」これはあっ……

身体のほおっ！
ほうえっ、防衛本能おおっ！
だ、だから感じてなんひえっ

じゅぽっ♡
じゅぽっ♡

ぶみ

ぽた
ぽた♡

ぶるん♡

じゅぽっじゅぽっねて
感じてなんかいいいいっ！

ずんずん♡

はあっ、はへええええっ!?!
い、一回出したのにまた突いたあっ!

や、やめへえっ!
子宮、子宮で精液暴れるうっっ!

んぐうっ♡

んあああああっ！
ずぼずぼだめえええっ！

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ♡

おまんこに精液馴染んじゃうっ！
おちんぽで擦りつけられちゃっ！おっ！

んおおおおおんっっ！
子宮、子宮にまた出したああっ！

ピュグッ♡

んっっ

んっっ♡

んっっ♡

一発目と二発目のサーメンっっ
子宮で「ぽい」も漏じりながらくるっっ！

あっ、はあっ、はああ……
も、もう子宮が、お腹いっぱい……

はあっ♡

はあっ♡

はあっ♡

特濃ザーメンが卵巣まで
どろどろ流れ込んでるのおおあ……

最早疑いようもなく
私の肉体は男性器と精液の感触に
この上ない程に支配されつつあった

連日、助けが来る事を祈ってはいるものの
時折、このままずっと犯されていたい……
本気でそう思ってしまおう自分に恐怖する
そんな私の気持ちなど慮る事なく
男達の陵辱は、私を奴隷に仕立て上げる
調教に変わりつつあった



んっ、れろっ……
んちゅ、んんっ、ちゅっ

「これでもいいの?」
え……もっと激しく?」
わ、わかったわ。やってみる



ぴゅんっ♡

ぴゅんっ♡

ねっ♡

んんうっ……何で私がこんな事を……
あっ、ぎゅうって締めたら先端から何か……

さ、先走り汁って言うの？
男の人にも気持ちいいと濡れるんだ……



ヒェルッ♡

ひゃああっ!?!?
す、すっごい勢い……

「……んなに田ちまひんら
気持ちよかったんだ……
私のおっぱい

んっ♡




とろっ♡

んっ…べ、べたべたにさわっちゃった…
「じー」んなに「出」すなんて…

はぁっ♡

ん

そ、それに…んんっ
すっくぐぐっからしい匂いがする……



ま、また胸でするの？
でも……これじゃあ
前みたいに挟めくない？

え、私そのまま何もなくていい？
それはどうい……

むちっ♡

ふあっ……あ、相変わらず熱い……
もしかして、貴方の方から突っ込むの？

う……まるで、おっぱいが
犯されてるみたい……



ふ、ふあっ……
突かれるたびに熱いのが擦れて
胸の奥に先っぽがぶつかってくる……

にゅあ
にゅあ

ふあっ♡

にゅあ♡
にゅあ♡

おっぱいを犯されるって
こっぴどい感じなんだ……


ん……あはっ！
谷間でザーメン中出しされてる……
んん……奥まで熱い……

あはっ♡

しゅるっ♡

がっ♡

こんなにびゆるびゆる出しちゃうなんて
そんなに気持ちよかったんだ……



……はっ、ち、違うんだからねっ
別に私までよかった訳じゃあ……

上機嫌に見えたんなら
それは思ったより早く終わったから……
そう、それだけなんだから……

順調に性技を覚えさせられ
快楽に従順になっていく私
変わる事に対する恐怖よりも
快楽への期待の方がすでに大きかった



この時点で、
私は予感していたのかもしれない
例え救出されたとしても、
もう普通には戻れないのだと…

こんな恥ずかしい格好をさせてっ
一体何をするつもりなの？

じ、従順になった訳じゃないっ
抵抗しても、無理矢理する癖に…

んんん

んんん♡

ひっ！……な、何？
一体何処を見てるの？

ま、まさか……た、ためっ！
そんな変態が使うようなトコで
するのはためえっ！

びんっ♡

ひいいいっー！
だ、ダメって言うてるのにっ！

はぁっ♡

ぐいっ

おしっ、お尻広げられてるうっ！
す、すぶすぶ入ってくるよおおっ！

ずぬっ♡

mizhob♡

んあああああっ！？
なんでえっ！？
なんでお尻いいのおっ！？

んんんっ♡

ぬふっ♡

じわっ♡

ぬふっ♡♡

んんんっ♡

お、おちんほ突っ込まれて
気持ちいいなんてええっ！
ああ、らめ、らめえええっ

んおおおおおんっ！
お尻の穴にザーメンがああんっ！

あはっ

んんん

びゅるっ♡

びゅくびゅく吐てるっ！
奥まで流れ込んでるのっ！

はあっ、はっ、はああん……
ああ、お尻しまらないよお……

はあ……

はあ……

とろっ！

穴が、穴が馬鹿になっちゃってる……
ひ、ひん……あ……ひん……



んくぅっ………！
ま、またお尻にいっ……？

んくぅっ♡

んくぅっ♡

ぬちっ♡

だ、だめええっ
今入れられたら、今入れられたらあっ……

ああああんっ！
戻れなくなるぅっ！

私、私もう普通に
戻れないよおおっ！
お尻で感じる変態に
されちゃっっっ！

ぬふっっ♡

ふふっ♡

あっ、ああんんっー！
はあああっ……っんえ？

いっい

じゅわ♡

な、なんで、なんでおまんこも……
だっ、だめ、それはだめっ
絶対にだめええっ

じゅっ
じゅん♡

んおおおおっ！？
おまんことお尻！？
おまんことお尻！？

ぬるぽっ♡

ぬるぽっ♡

しゃぶっ♡

じゅるぽっ♡

「りゅりゅ擦れて中を抉ってるぅっ！
あああ、ちめえええっ！
イッちゃっっ、イッちゃっっよおおっ！

ああああきたああああっ！
同時発射きたのああああっ！

いゅるっ♡

ああああああっ！
お尻とおまんこサーメン漬けでっ！

ぽおはっ♡

あああん……らめええ……
ザーメン気持ちいいのおおっ……

あんっ♡

とろっ…♡

おまんこもお男も
熱々のJUNJUNJUNJUN
……んんんんんん……



この直後、私は友軍に救出された
しかし、完全に手遅れだった
私はもう、身も心も快樂の奴隷に成り果てていたのだ

もう普通には戻れない…
その事が寂しくもあり
そして、とても喜ばしくもあった



くすくす

んふ♪
すっごくガチガチになっちゃってえ……
ただの手コキがそんなに楽しみだった？

まふっ♡

ふふふ、こゝろよ
期待してくれた分
いっぱい気持ちよくお世話あげる♪



ほぐち、まずは軽くゆっくりね
激しくしたらさすがにイッしちゃうぞでしょ??

貴方も折角の気持ちいい時間は
長く楽しんだ方がいいに決まってるよね♪

おは♡

ぴゅ♡

ぴゅ♡♡

ぴゅ♡

ぴゅ♡♡



ニコニコ

いっ♡

ふふ……なあに？
長く楽しみたいけど、早くイかせてほしい？

ニコニコ

「こら、矛盾しちゃってるわよ♪
でもいいわ、それじゃあ希望通り
激しくシゴシゴしてあげる♪」

びゅん
びゅん
びゅん
びゅん
びゅん
びゅん

あはっ♪ 案の定すぐ出ちゃった
それにしても、すっごく少量

「こんな量じゃ出さないうわさひんこ溜まるとかたかたの...
オナニーくらいらしないと身体に毒よ？」

びゅん
びゅん
びゅん
びゅん
びゅん
びゅん

ペタペタ

はぁっ

うふふ、顔にまでいっばい飛んできましたよ
この生臭い臭いだけで感じちゃっ

次はもっとお金を溜めて
手コキ以上の事もしてっとな

救出されてからというものは、
私はこうして、身体を売って
お金を稼いでいた

ペナリル

はなは

そう、女の身体とは
存在するだけで売り物になる
趣味と実益を兼ねたこの行為が
私はすっかり病みつきになってしまったのだ

あはっ、また来てくれたんだ♪
うふふ、今日はフェラして欲しいんだね

おほっ♡

おほっ♡

前とおんなじくらいに精液溜めてきた？
いっぱい濃いの飲ませて貰うからね♪

ふふ、裏筋舐められて気持ちいい？
でもまだ、出しちゃダメよ？

んろっ♡

ぐしゃ
ぐしゃ♡

ぐしゃ
ぐしゃ♡

貴方だって、私のお口の中に
ザーメンいっぱい出したいでしょ？

あらっ…うふふ…
待ちきれない子がいるみたいね

いいわ、一緒に可愛がってあげるから
我慢しないでいっしょしゃいな♪

ちゅっ♡

んっ♡
んっ♡

んちゅ、んっ、んっ
んん……うふふ、みんなガキガキね

ははっ

おはっ

おちゃんほ気持ちよくなりたくて
しょうがないって顔に出てるわよ♪

フシヤ フシヤ ♡

ん、じゅるるる♪
みんな安心しなさいな、んっ

ちちゃんと纏めて気持ちよくして
あげるから、ね♪

じゅるるっ ♡

フシヤ

フシヤ ♡



手コキでフライングしちゃうなんて
ぶふ、早漏なんだからあ…♪

ううっ、ううっ……ん
んんんんんんんん……ん

ココロ



んっ♪ 次は君かあ
ふふふっ、こっちの子が出してるの見て
我慢できなくなっちゃった？

勢いよくひらひらひらひらと出ていって
すっごく可愛いですよ、君のおちんちん♪

ひんひん

どろろろろっ


どいっやうっ

はっ♡

ん、ん、ん……ん……ん……
みんな気持ちよかった？

今日は纏めて相手しちゃったけど
次来てくれた時は一人ずつたっぷり
気持ちよくしてあげるからね♪

はっ♡



人の口に戸は立てられぬもので
最初はごく少数の兵に秘密裏に行っていた事が
今ではすっかり多くの兵に知れ渡っていた

私を買う為の資金を得るべく
手柄を立てようと必死に働く兵もいるらしい
一般兵の士気向上にも繋がっているせいか
私の行為は、ありがたい事に黙認される事となった

ふふふ、また来てくれてありがとう♪
うふふ、今日は他の子はいないし…
ゆっくり相手をしてあげるね♪

はあっ♡

それにしても……
うふふ、やっぱりバイスリしたかったんだ
私の胸はっきり見てたもんね、君♪

たがっ♡

んんっ……うふふ
熱いの入ってきた♪
おっぱいを犯されるの、
気持ちいいんだよねえ…

あはっ♡

じわっ♡

ずいっ♡

おにいっ♡

あは、乳首から何か出てきたっ…
ふふ……何言ってるの、
母乳に決まってるじゃないっ

うふふ、突かれると溢れちゃう♪
どう、母乳でパンパンのおっぱいを
犯す気分は♪

おほ♡

いっ♡

いっ♡

たっ♡

あはっ、おちんぽそんな
びくびくしてる所を見ると
気持ちいいみたいね♪

あんなっ♪ そんなに勢いよく
腰振っちゃってえ♪
うふふ、可愛いんだから♪

たばん♡

わんわん♡

たばん♡

遠慮なんてしなくていいよ？
おっぱいを貴方専用の肉便器だと思って
いっぱいザーメンぶちまけてー♪

あはあっ♪

おちんぽイッちゃったね♪

うふふ、だらしがない顔して♪

はらほら、出してただけ出してさっしなまこら
今日の私は貴方専用の肉便器なんだから♪

いっくっ♡

いっくっ♡

うふふ、胸の間どろどろ♪
濃いのでっぱい出たねえ
溜めてきたの？

はあっ♡

どろっ♡

まだまだ出そうだし
時間もたっぷりあるから
次は私が責めてあげるね♪

くすくす♡♡♡
尻こきしても大丈夫なのは初めて...

むち♡

んんん♡

んん

押し付けられてるだけ
でもいいでしょ♡うけど
「じじじと動くんよ...」

ほいほい
ーッッッッッッッッッッ
気持ちいいでしょ？

ふふ、胸であんなに出したのに
またびくびくしてきているぞ！

びくびく

ッッッッッ




あはっ♡

あははっ♪
どびゅどびゅ出たあ♪

それにすっごい勢い…
うふふ、元気なおちんちんだね♪

あはっ♡

どくどくん♡



それじゃあ次は…あら
うふふ、わかりやすい顔♪

おまんこに突っ込みたくてしょうがないって
顔に書いてあるわよ♪

きんぐ…♡

あんまり焦らすのも可哀想だし
くす♪はっい♪どうぞ♪

むちゅっ♡

くすくす

大勢の男に犯されて
鍛え上げられた淫乱まんこ♪
前の穴も後ろの穴も使えるわよ♪

あはっ♪

おまんこの方がいいみたいね

あはっ♡

♡あはっ♡

うふふ、鼻息荒くしちゃって……
可愛いんだから♪

あはあっ♪ あんっ、いいよあっ♪
もっどぐちゅぐちゅ掻き混ぜてえっ！

あはあっ

セリアの便器まんこに
好きなだけ精液流し込んで！

はちゅん♡

はちゅん♡

はちゅん♡

んはあああうっー♪
はああああ……サーメン出てるよ

あやっ♡

んんんん♡

んんん♡

んんん♡

「めんなさいっ
サーメン子宮に出されてイッちゃう
便器まんこでめんなさいっ」

ふふ………いっはい出さねちやったり
君のおちんぼ、3回目なのよ嬉しいの出すね

はあ
はあ

うふふ

ねえ………また来てくれるよね？
うふふ、君だけは次から特別に
他の子より安く相手してあげるから、ね？

当然と云うべきだろうか
私は誰が父親かもわからぬ状況で
妊娠してしまったのだ



それでも、私は湧き上がる性欲を止めることは出来ない
寧ろ、これまで以上に強く性行為を求めてしまう始末である
身も心も精液を受け止める為の便器に成り果てた自分を、
これ以上無い程に心地よく感じていた

んふ……

ガチガチのおちんぽと一緒に
また来てくれたんだ♪

ほあっ♡

んふ♡

うふふ、なんだか
嬉しくなっちゃう……♪
私の身体そんなに気に入った？

くぅんっ♪

相変わらず奥まで「りりりり

きちちゃってるのぉっ♪

あはっ♡

ずぶん♡

君のおちんぽ

私のおまんこにびったり

はまっちちゃってるのぉっ♪

あああんっ…
はあんっ、自然に腰が動いちゃっ

ふるっ♡

ふるん♡

めちゃう♡

ぐच्च♡

ぐちゅん♡

いいいいよあっ
奥を「りゅ」りゅされて
気持ちいいのおあっ…

ふあああああんっ！
ああっ、これ、これが欲しかったのあっ！

あゝ♡

ざーめんぶちまけらねてらんじりっさー！
ぶっぶっぶっぶっぶっぶっ

どっ

どくっ♡

はあっ……

うふふ、貴方のおちんぽ
癖になっちゃいそう♪

はあっ……♡

たぶら……♡

どろっ♡

だって、こんなに濃くて美味しいザーメン
いっぱい出してくれるんだもの♪
「おれかたもいっぱい絞り取ってあげるからね♪」

この頃になると
私の余りの淫乱ぶりに愛想をつかしたのか
客の殆どが離れていた

しかし、それでも私を抱きに来る熱心な兵がいるのは事実
そして、そういった者ほど性的に非常にタフで、
私との相性も抜群な上、性的な技術の飲み込みも早い
私は嘗てとは逆で、今では男を私好みに調教すら出来るようになっていたのだ



くすくす♪
それにしても、君だけだよ？

けあっ♡

ん

んっ♡

ぢゅんっ♡

こんなポテ腹になっても
私として来てくれるのは……

くうんっ♪
うふふ、妊娠まんこに
びゅっびゅっ出てくる♪

びゅっ♡

あぐっ♡

あぐっ♡

栄養たっぷりのサーメンスミルク…
うふふ、すいすい飲んで、びゅっびゅっ♡

はあ……くすっ、いっはいい出たね♪
ねえ、君さえよかったら……

は♡

ん♡

ん♡

ん♡

「この子が産まれたら、
貴方の精子で種付けしてみない？
私、貴方のおちんほで孕んでみたくなっちゃった♪」

妊娠の発覚に伴い、
私は前線を離れる事を勧められた
しかし、私はそれを断った



ここには実に私好みの精液と男がいる
理由はそれで充分だった
彼は今日もきつと戦場で生き延び
必ず帰ってきて私を犯してくれるだろう
その事を考えるだけで、
私の股間は常に濡れてしまっていた